

令和 7 年度 学校教育目標等

教育局	空知	学校	北海道滝川高等学校	課程	全日制課程
-----	----	----	-----------	----	-------

1 学校教育目標

「高い志をもち、自己を創造し、真理を追求する心と未来を拓く力を育む」

- (1) 自学自律 高い見識
- (2) 自尊惻隠 豊かな人間性
- (3) 健体康心 健やかな心と体

2 スクール・ミッション

- 生徒の興味・関心、進路希望等に応じて柔軟に教育課程を編成し、個々の進路実現に向けて必要な能力や態度を身に付けた生徒の育成
- 地域における探究学習を通じた、多様化・複雑化する社会において主体的かつ協働的に課題解決に取り組む資質・能力を身に付けた生徒の育成

3 3つの方針（スクール・ポリシー）

○育成を目指す資質・能力に関する方針
<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語を活用し、基礎から応用にいたる正しい知識を身に付けるとともに、自ら課題を見出し解決する力 ＜考え抜く力＞ ○ より良い社会の創造を目指し、自らの考えを表現し、他者と協働することのできる力 ＜協働する力＞ ○ 志を高く持ち、新しいことや難しいことに挑戦し、自己を変容させやり抜こうとする力 ＜生き抜く力＞
○教育課程の編成及び実施に関する方針
<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な科目開設と多彩な選択肢及び少人数指導や習熟度別授業を実現し、確かな学力を育てる教育課程を編成する。 ○ 探究活動を重視し、思考力・判断力・表現力、コミュニケーション力、課題解決能力等の資質・能力を伸ばすカリキュラムを実践する。 ○ 人間としての在り方生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間としてよりよく生きるための基盤を養う教育を実践する。 ○ 生涯にわたって心身の健康を保持増進する気力・体力や、豊かな人間性を育む教育を実践する。
○入学者の受入れに関する方針
<ul style="list-style-type: none"> ○ 高い志と真理を追求する知的探究心を持ち、意欲的に学習に取り組む生徒 ○ 生徒会活動や学校行事、部活動等に積極的に参加できる生徒

4 指導上の重点事項

重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・SSH事業を核とした単位制教育課程の下、探究的な学習活動による学力向上の推進 ・生徒・保護者・地域の期待を踏まえ、納得できる進路実現を叶える教育活動の推進
学習指導	<p>主体的・対話的に自ら学び探究する意欲と態度を高める学習指導を推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 各教科内の連携や指導方針等の意思統一を図り、教科間の連携を発展させる (2) ICT・BYODを活用した教材研究や指導方法の工夫・改善を実践する (3) 主体的に学ぶ習慣を身に付けさせる課題や手法を工夫し、自立学習への転換を図る (4) 授業評価等を活用し、評価やPBL型授業等の工夫改善の各種研修体制を確立する
生徒指導	<p>自主的・自律的な行動を身に付け、豊かな人間性・社会性を有する生徒を育成する</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 分掌・年次・教科が連携したきめ細かな生徒情報の共有に基づく指導を充実させる (2) 家庭・地域・関係機関等の連携を密にし共通理解に基づく指導を展開する (3) 特別活動や部活動をとおして生徒の主体性や成就感、自己有用感を醸成する (4) 自他の生命尊重や事故の未然防止に資する教育活動を充実させる
進路指導	<p>人生観や職業観、自己理解を深めるキャリア教育を推進しつつ、進路希望実現を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 生徒個々の実態に即したきめ細かな進路相談に基づく有効な進路指導を行う (2) 進学、就職に係る進路情報の収集・分析と的確な情報提供に努める (3) 教科・年次が連携・協働して、効果的な学力向上対策の確立を図る (4) 効果的な模擬試験・講習の実施やBYOD等の活用により生徒の主体性を育成する
健康・安全指導	<p>自他の生命を尊重し、自発的に健康・安全や環境美化に努める能力を育成する</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 学校内外の施設設備の管理を徹底し、安全な教育環境の維持に努める (2) 組織的、計画的な防災計画の実施と日常の点検を徹底し、事故防止に努める (3) 発達段階に応じた各種健康安全講話等の適切な実施による健全な心身の育成を図る (4) 体育的行事や部活動をとおして健やかな身体と逞しく生きる力を育成する (5) 合理的配慮や特別な支援を要する生徒に対する適切な情報共有と指導の徹底を図る

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。